

問 消防団員報酬に2、509万1千円計上されているが、19年度までに団員を50名減員することについて話し合いは進んでいるのか。又、在団年数9年という者も出てきていることに対し、どのように考えるか

答 現在、国からは消防団員の確保を要請されている。減員目標は50名であるが、19年度ということではなく、暫く様子を見たい。在団年数の長期化については、夜警等の消防活動の見直しを行い、無理のない中で団員の確保をしていきたい。

問 消防施設費中、公共工事費6、300万円の内容及び地元負担金の有無について

答 地元要請に基づき、新神子、白羽、白浜地区に分散する消防詰所を1箇所にとり、第8分団詰所として新築するものである。土地は借地を予定している。車庫部分は全額、市の予算で施工するが、詰所部分については各地区200万円、計600万円の地元負担をお願いす

る。

問 災害対策費中、電源三法工事費1億8、000万円について

答 1000トンの飲料水兼用貯水槽3基を白羽小学校、御前崎小学校、御前崎支所に設置するものである。

問 無線施設整備事業に4億2、760万円余が計上されているが、今後の同報無線の整備計画はどうなっているか

答 18年度に、同報無線の親局及び中継局をデジタル化し、19年度、屋外子局を全てデジタル化していく。20年度には、御前崎地区3、400世帯の戸別受信機の設置、21年度には、浜岡地区の戸別受信機をデジタルに変えていきたいと考えている。

問 同報無線の整備の事業費の総額はどれくらいを見込んでいるのか

答 19年度に、概算で4億2、

800万円、20年度に3億2、000万円、21年度に6億8、400万円を見込んでいるが、ケーブルテレビの音声告知との兼ね合いもあるので、時期を見て整備していきたいと考えている。

問 水田農業対策費中、水田高度利用推進事業補助金540万3千円は、無人ヘリの導入に対する補助と聞いているが、16年度にも1機導入している。現在の散布状況について

答 現在、無人ヘリ利用組合の1機と民間会社に委託して、市内の水田300haの内、200haを無人ヘリで散布しているが、散布時期が集中するため、民間ヘリは思うように利用できない状況にある。

問 農薬の飛散により茶園への影響が心配されているが、行政として対応策があるのか

答 現在、水田と茶園、水田と住宅が隣接する地域は、散布を見合わせる動きが進んでいる。

農家へは農協が中心になって農薬の飛散防止対策をPRし、一般市民にはケーブルテレビや広報紙で協力を求めていると考えている。



問 地域農政推進対策事業費中、農地利用集積事業費補助金200万円が計上されているが、現在の集積状況について説明願いたい

答 年間では、農地の貸し主分8ha、借り主分6haを対象に利用集積の補助金交付を見込んでいる。